

外国人留学生研究発表会

外国人留学生から見た日本。
アジアの国との異文化間理解。

本学で学ぶ外国人留学生が、日本社会や文化について調査、研究を行った結果を日本語で発表します。
お気軽にご参加ください。

日 時 **2025年12月22日(月)** 第一部 9:05~10:35 (プログラム 1~4)
会 場 **京都ノートルダム女子大学** 第二部 12:25~13:05 (プログラム 5、6)
ユージニア館3階 NDホール (申込不要・入退室自由)

発表者 「日本語表現Ⅱ」(高岸雅子講師) 履修の外国人留学生 計16名

プログラム

【発表時間+質疑応答時間】 1組 17分程度

高校生の制服に対する考え方

1 国際言語文化学部 単位互換履修生

国際言語文化学部 国際日本文化学科 1年次生

学校の制服にはそれぞれの国の教育観や文化が反映されており、制服の着用は各学校の決められたルールである。けれども最近では、高校の制服の自由化問題が話題になり、制服が必要かどうかという疑問点も出てきている。以上のような高校の制服をめぐる問題について、日本人と外国人がどのような考えを持っているかを調査した。

女子大学生が考える理想の男性像

2 キャリアデザイン学環 1年次生

国際言語文化学部 英語英文学科 1年次生

国際言語文化学部 国際日本文化学科 1年次生

恋人や結婚相手を選ぶ際に重視する条件は、文化や個人によって違う。特に、外見、性格、趣味、価値観、職業、経済力など、恋人や結婚相手に関わるさまざまな要素が選択の基準になると考えられる。そこで、日本人と外国人の女子大学生を対象に、理想の恋人像や結婚相手像に対する意識について調べた。

同棲について賛成か反対か

3 国際言語文化学部 国際日本文化学科 1年次生

現代人間学部 生活環境学科 1年次生

近年若者の間で「同棲」という概念が広がってきており、日本、ベトナム、ミャンマーでは文化的背景や家族観が異なるため、同棲に対するイメージに違いがある。3カ国の若者が同棲をどのように捉えているか、40代以上の人々が若者の同棲をどのように考えているのか、世代間にどのような意識の差があるのかを知るために調査を行なった。

あなたとソーシャルメディアとの関係

4 国際言語文化学部 英語英文学科 1年次生

キャリアデザイン学環 1年次生

ソーシャルメディアには、情報収集や人との交流など日常生活に与える利点とともに、誤情報拡散、プライバシーの侵害、ネット依存などの問題点がある。日本、ベトナム、ミャンマーの幅広い世代の人々を対象に調査し、国や文化によってソーシャルメディアの捉え方がどのように違うかを探り、同時に、より安全で効果的な活用方法を考察する。

日本人と中国人の身体装飾に対する態度

5 現代人間学部 心理学科 1年次生

現代人間学部 生活環境学科 1年次生

近年、身体装飾についての考え方が多く変化し、タトゥーやピアスに対する見方や受容度も大きく変化している。一方で、国ごとの文化的背景や社会的価値観によって受け止め方には差がある。そこで、中国人と日本人を対象に、身体装飾に対する意識や受容度がどのように異なるのかを調査し、両国の違いを明らかにしたいと考えた。

将来の職業選択に関する意識調査

6 現代人間学部 心理学科 1年次生

将来の職業選択は多くの若者にとって大きい問題で、本当に自分に合った職業を見つけるのは難しくなっている。将来の職業を選ぶとき、自分が好きなことや得意なことだけでなく、将来社会がどのように変化していくのかも考えることが大切である。現代の若者が将来の職業選択にどのような不安を持っているのかを知るために調査を行なった。



京都ノートルダム女子大学

教育支援部 学事課

〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1番地
TEL:075-706-3661 FAX:075-706-3790
E-mail: gakuji@notredame.ac.jp
<http://www.notredame.ac.jp>